

下 北 駅 前 整 備 促 進
特 別 委 員 会 会 議 録

(平 成 1 8 年 8 月 8 日)

む つ 市 議 会

下北駅前整備促進特別委員会

○開会の日時 平成18年8月8日 午後 1時00分開会・開議
午後 1時54分閉会

○場 所 本庁舎旧議場

○付託事件 第186回定例会（平成17年12月21日）付託事件
（1） 下北駅前整備に関わる諸問題について

○出席委員（13人）

副委員長	佐々木	肇	委員	濱田	栄子
委員	白井	二郎	〃	新谷	功
〃	柴田	峯生	〃	久保田	昌司
〃	松野	裕而	〃	東谷	良久
〃	菊池	広志	〃	目時	睦男
〃	田高	利美	〃	牛滝	春夫
〃	川端	澄男			

○欠席委員（2人）

委員長	川下	八十美	委員	杉本	清記
-----	----	-----	----	----	----

○説明のため出席した者

助	役	田頭	肇									
収	入	役	田中	實								
企	画	部	長	渡邊	悟							
建	設	部	長	成田	豊							
企	画	部	次	長	工藤	武勝						
建	設	部	次	長	村田	幸雄						
企	画	部	企	画	課	長	奥島	愼一				
建	設	部	用	地	課	長	手間本	富士雄				
建	設	部	都	市	計	画	課	長	山本	伸一		
建	設	部	都	市	計	画	課	長	補	佐	杉山	重行

○事務局出席者

事務局長	小島昭夫	次長	高田文明
総括主幹	工藤昌志	主幹	柳田諭
議事係主	赤石奈穂子	議事係主	葛西信弘

(午後 1時00分 開会・開議)

○副委員長(佐々木 肇) ただいまから下北駅前整備促進特別委員会を開会いたします。

ただいまの出席委員は13人で定足数に達しております。

これから本日の会議を開きます。

本日の特別委員会は、下北駅前整備に関わる諸問題についてを議題として審査を行います。

まず、本日の会議の進め方についてであります。前回の会議では下北駅前の現地調査を行い、また下北駅周辺整備促進協議会から会長、副会長に参考人としておいでいただき、ご意見、ご要望等を承ったところであります。きょうは、前回の現地調査後の状況、そして前回の委員会開催以降の経過と現況について、企画部から報告を求め、その後委員から質疑を受けてまいりたいと思っておりますが、このような進め方でよろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

○副委員長(佐々木 肇) ご異議がないようでありますので、本日の会議の流れは、そのようにさせていただきます。

それでは、企画部から前回の現地調査後の状況、そして前回の委員会開催以降の経過と現況についての報告をお願いいたします。

○企画部長(渡邊 悟) それでは、JR下北駅前広場整備事業の経過の概要ということで、その後、前回の特別委員会後ということでございますけれども、現地調査の後の大きな動きとしては、皆様方に公表できるような部分は今のところはございません。ただ、それがとまっているかということではなくて、進行中でございます。その中の特に今大きく動いているという部分でございますが、前回土地を交換して、等価というよりも同じ財源、その分の等価の部分で交換して整備していくというようなことで現地調査のときも説明いたしましたけれども、いろいろなお話もございます。もっと広げられないかと、整備をもうちょっと見直しした方がいいのではないかとというようないろいろなちまたのご意見もありますし、いろいろなお話もございます。そういうこともございまして、もう一回再検討いたしました。それで、今交換ということではなくて、北側の交換のために予定していたところをそのままにして買い取って広くするかというようなことで今話を進めております。そういうことで、100%ではございませんけれども、そういうことで今話を進めておりますので、ご了解いただきたいと思います。

あとJRの方については、今逐一係も行きまして、細かいところを詰めております。駅舎をどこにするかとかいろいろございますもので、その辺があ

ります。ただ、南側の境目をどこにするか、これはJRとの兼ね合いもありますので、今ここで決まりましたというわけにはちょっといきませんので、進行中ということでご了解いただきたいと思います。

その後の経過といたしましては、今現状、この辺まで皆様方にご説明できる段階でございます。

以上でございます。

○副委員長（佐々木 肇） 次は、ただいまの報告に対して質疑を受けたいと思います。

なお、質疑に当たりましては、毎回お願いしておりますが、本委員会は下北駅の整備を促進することを目的として設置したものでありますので、目的にそぐわない発言等には十分ご留意を願いたいと思います。

それでは、ただいまの報告に対し、質疑ございませんか。

○委員（白井二郎） ただいま企画部長から、土地の交換でなく買い取りを目指す、話し合っているということで、当然これが進まない、駅舎、またレイアウト、いろいろな面が決まらないということで、何も質問の仕方がないのですが、やはりこれを早目に進めてもらいたい。そうしなければ、幾らここで話し合いしても議論が成り立ちませんので、何とぞこの辺を加味いたしまして、より一層努力するべきではないかなと考えています。答弁は結構ですので、よろしくお願いいたします。

○副委員長（佐々木 肇） ほかに質疑ございませんか。

○委員（瀧田栄子） 面積が広くなるということになりますと、最初計画した図面と素案が違ってくると思うのですが、その辺のところのお考えは、今現在で何かありますか。

○建設部長（成田 豊） お答えいたします。

駐車場、それから駐輪場等かなり気がかりにしておりました。これまで通常使っている台数等を勘案いたしまして、そういう駐車場とか駐輪場を拡大していきたいというふうに思っております。あわせて瀧田委員も前にご指摘ありましたように、せっかく下北駅前の方々がコスモス等を植えておりますので、そういう植栽をできる場所もある程度確保したいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員（瀧田栄子） コスモス畑にこだわったかいはありました。やはり安らぎと活力のある大地の駅からおりたときのコスモスの花は、私たちを和ませてくれますので、その辺のところも十分勘案して進めていただきたいと思います。

○副委員長（佐々木 肇） ほかに質疑ございませんか。

○委員（菊池広志） ただいま企画部長から説明をいただいたのですけれども、ただ本当に買い取るというようなことは大変、私前にも話をさせていただいたのですけれども、ただどこまで買い取るとか、そういうのは全くまだ見えていないような話でございますけれども、確定したらというのではなく、確定する前にやはり我々もそういう部分を知りながら、では今後こうやっていけばいいのではないかとというようなことで考えていきたいというように思うわけです、委員会の中で。それが確定してから報告をもらって、ああ、こうなのだということよりも、確定しないけれども、こういう方向へ進んでいるのだというようなことが我々は必要なのではないかなと考えます。でありますから、このように進んでいるという言葉ではなく、やはりこちらの計画がこれからこうなっていくのだと、この計画からこうなっていくのだというようなものが形として見えないと、質問の仕方がなかなかできないのではないかなと。ああ、そうですかということだけで事が済むのであれば、何もこうして委員会を開く必要がないわけです。だから、今このような形で進んでいますと、これからこうしたい、ああしたいという意見を取り寄せてこそ駅前開発ではないでしょうか。だから、その基本になるものが今どんどん進んでいますよというようなことをやはり何らかの形にして見せていただければ、当然このものと、このものは交換ですよという場合はこういう形で、今これで明示していただいたのですけれども、当然今度買い取るわけですから、どのくらいまで買い取るとか、どのような形になるかというものが明確に出ないとなかなか質問ができないように思うのですが、部長、いかがでしょうか。

○企画部長（渡邊 悟） 本当に細かいところはちょっとお示しできませんけれども、大体日通のあたりから7メートルぐらい南に行ったあたりぐらいのところになるかと思えます。ちょうどそのあたりで駐車台数が50台前後はとれるのではないかなというようなことで、その辺のきわどいところでの今話ですけれども、その辺で多分決まるのではないかなということになるかと思えます。

確定した図面ができれば、本当はお示ししたいところなのですけれども、最終的なその部分がまだ決まっていません。おおむねその辺ということで大体おわかりになるかなと思えます。

○委員（菊池広志） こちらの方に前回の参考図があります。やはりこれは参考なのですよね。ですから、今回もこのような形ですよという参考図を、こうやって買いましたではなく、こうやってやっていますと、我々もこうやって努力していますというようなことを、委員会ですから、できましたらそ

れを提示していただきたかったなというように思います。部長は、確定をしましたらというようなことをおっしゃいましたけれども、できるものであれば、我々もこの問題について一緒に考えていきたいと、また努力もしたいと、思っているわけです。そのことをぜひ次回の委員会の際にも明示できればなど。明示しなくてもいいです、参考で結構でございますので、よろしく願いを申し上げます。

以上でございます。

○副委員長（佐々木 肇） ほかに質疑ございませんか。

○委員（新谷 功） 今企画部長の方から、前回の委員会後の経過報告がなされ、まだはっきり決まっていなけれども、こういうふうに進んでいるというような答弁でございました。実は部長、今の測量業務、これは平成17年12月6日に発注して、この工期は5月31日でしたよね。それから、もう一つは、平成18年1月20日に下北駅前広場調査設計委託も発注になって、これも5月31日の工期だと思っておりますけれども、前回のこの特別委員会においては、その工期が5月31日のために、我々は図面云々という話をしたところ、工期が5月31日なものですから、その後その図面なんかは提出できると思いますという答弁が確かにあったやに思っております。私はこのたびの、きょうの特別委員会にその図面等々が出てくるものと、こう思っておったら、今の部長の答弁は、いろんな関係があって、南側に7メートル分を買い取るやの話もあったかと思うのですけれども、そういう意味で、部長、どうなのでしょう、図面なんかは確定したものでなくても、今の菊池広志委員にもちょっと関連するのですけれども、確定したものでなくても、そういうものがないのかあるのか、提出できないのかできるのか。もし提出できないとすれば、何が障害となって出せないものか、それをちょっとお聞きしたいと思います。

○企画部長（渡邊 悟） お答えいたします。

確定したものでもし出すということになりますと、確定したものを公表したうえで地権者と交渉という事態になるわけなのです。その辺が先に話し相手が結局一番最初に交渉の窓口になってもらわないと、また困る部分もございます。一たん公表されてしまったもので地権者のところに交渉というのは非常に難しい面もございまして、実はある程度話が決まった状況でなければ出せないといった、そういう事情もございます、これは内部的な事情なのですけれども。本当は、全部大っぴらにしてやれば一番いいのですけれども、そうすると当然価格の問題もみんな出てきます。まだそこまでは言えないと。これは、こちらの方を、そのまま残しておく分というのは、これはある程度了解もらっている状態でございます。今協議中とは申し上げましたけれども、

100%とは言えないだけで、大体内々にはいいというような話なのです。こちらの方は、ある程度本当に、7メーターとほとんど確定している状況なのですけれども、本当にこれでいいですよというような状況になりますと、これは皆様にお示しできますけれども、ここまでやってくださいという状態で私たちの方からなかなか言えない部分もあると。これが非常に複雑な部分がございます、JRとの関係で、この境目の部分が。そういったこともございまして、何か苦しい答弁でご理解いただきたいと思います。

○委員（新谷 功） いろいろな事情それは理解できます。

ところで、部長、むつ市議会第188回定例会のときの下北駅前整備促進特別委員会の中間報告を今私見ておったのですけれども、土地の問題云々でもって全体的なスケジュールが変わるのではないかなという今思いを抱いたわけなのです。と申しますのは、前回の中間報告の文面を見て、駅前整備の今後の予定についての質疑に対し、企画部長から、用地の交換は今年度の早い時期に行い、その後の事業認定など、県との協議も今年度中の予定で考えており、平成19年度ではJRも含めた用地取得を行い、平成20年度にかけて広場の整備を行う計画であるとの答弁があったのですけれども、このスケジュールに沿っていくには、今のような状況でもこのスケジュールをこなせるものかどうかを伺っておきたいと思います。相手もあることでしょうけれども、電源三法交付金の取り扱いの件もありますので、この部分が大事だと思うのです。お願いします。

○企画部長（渡邊 悟） 今の件でございますが、今交換でなくて広げるということで、この見直した分の手順は若干ふえますけれども、何とか前のそのままの予定でいくように最大限努力するというようなことで御理解いただきたいと思います。

○副委員長（佐々木 肇） ほかに質疑ございませんか。

○委員（柴田峯生） 今委員側と執行部の側とのやりとりを伺ってしまして、率直に申し上げて、この会議は何なのかなと、そう思ったのが率直な感じですね。少なくとも今までの主な説明する内容のものがないというのであれば、会議を開く意味合いが何も無いわけです。ただ、私たちの希望を聞いて再検討をして、今後のスケジュールをさらに示して会議を開催したいというのであれば納得できるわけですが、今のやりとりを聞いてまして、現実何の会議なのかなという感じをしております。

そこで、そうはいつても会議を開いているわけですからお伺いするわけですが、今後のスケジュール、現段階で立てておくとすれば、あるいは今後こういう形のスケジュールで進めていきたいというのがあれば、執行部の側か

らお知らせを願いたいと思います。

○建設部長（成田 豊） お答えいたします。

これらの事業にかかわる予算につきましては、昨年の10月の臨時会で予算を確保させていただきました。それに伴って広場の測量業務等は平成18年5月31日で終了しております。それを踏まえまして、今度は調査設計委託をしたわけでございますけれども、これは平成18年12月22日までの予定になっております。それらに基づきまして、今度事業認定をお願いします。それは、税の特別控除等の関係がございまして、事業認定をしていただくわけでございますが、それが平成18年度いっぱいを考えておりまして、用地の取得等は、したがって平成19年度。ただし、JR部分を除いた土地の部分の購入というふうに考えております。工事は、その土地の購入が終わりますと、平成19年度に一部整備事業を開始いたしまして、その後JRの土地を購入した後に全体の工事に着手するというふうなことになりますので、ご理解をいただきたいと思います。

○委員（柴田峯生） そうしますと、現在設計委託中であるということなのですが、その設計委託をするに当たって入札をなさったと思うのですが、その概要を説明してもらえませんか。どういう内容の設計内容になっているのか。

○副委員長（佐々木 肇） 暫時休憩します。

午後 1時25分 休憩

午後 1時32分 再開

○副委員長（佐々木 肇） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、助役から答弁お願いいたします。

○助役（田頭 肇） 今入札の内容、概要を把握しましたので、私からご説明申し上げます。

入札は、内容的には駐車帯、あるいはバスプール、タクシープール、雨よけのシェルター、こういった一連の配置と公衆用トイレとか、そういった建物の配置と、それに見合う景観、敷地というものを組み合わせての発注でございます。契約の形態からいえば、今内容を伺いましたが、5社を指名いたしまして、この駅前広場の整備についての実施設計ということで、この内容を見ますと、いわゆる設計コンペといえますか、公募的な設計方法であると思います。すべて受託側において提案して、それが私どもの意図するところと合うのかどうかということの内容でございます。当然その提案について、担当課におきまして最良のものを選択すると、こういうことでございます。いわゆる設計コンペに近い内容だと思っておりますので、そういう契約形態という

ことをご理解いただきたいと思います。5社の指名で、契約額は消費税込みで535万5,000円と、こういうことになっております。

以上です。

○委員（柴田峯生） 非常に簡単なことがなかなかまとまらないで答弁できなかったというような感じを受けたのですが、実際入札をされまして、そのコンペがそれでは12月27日までに提案されるということなのか、第1点。それから、現在コンペに参加している業者が何社ぐらいあるのか、それをお伺いしたいと思います。

○助役（田頭 肇） 契約期間は、平成18年1月21日から平成18年12月22日と、こう工期をうたっておりますので、この期間までに履行されるものと、こう思います。そして、既に今お話しの何社がコンペに参加しているか、5社でございます。そのうちの市のいわゆる選択するもの1社を選んだと、こういうことでございます。相手方は、佐藤技術株式会社でございます。

以上です。

○委員（柴田峯生） 私の聞き違いもありましたから、その点はご了承いただきたいと思います。

問題は、平成18年12月22日までの工期になっているわけですが、このコンペそのものがどういう時期にコンペの結果が議会に、いわゆるこの特別委員会に示されることになるのか、その予定がされているとすればお答えいただきたいのですが。どの時期に議会の特別委員会にお諮りしていただけるのかお伺いしたいと思います。

○助役（田頭 肇） あくまでも平成18年12月22日までに、この期間内に受託者において設計書を提出すればよろしいと、こういうことになります。その設計というものは、ご承知のとおり成果物でございますので、土工とかそういう広場整備のいわゆる工事全般についての設計がなされてきます。その成果は22日までで、特に途中においての協議も随時の協議ということでのそういうたい方をしておるそうでございますので、ご理解願います。

○委員（柴田峯生） 12月22日までに終わって3月の定例会に用地の取得等、それから工事の一部実施という、先ほど説明したスケジュールだとそうなっているわけですが、平成18年12月22日ですと、電源立地のお金を、現在基金に積み立てしている分はよろしいのですが、もしそれをオーバーした場合、電源立地交付金を要請する期間としては遅いと思いませんか。どうでしょう、よろしいですか、この期間で。

○助役（田頭 肇） 用地取得は、12月、今の設計ができた後に公共用地として取得いたしますので、地権者の皆さんにはそういう税制上の特例を適用し

たいと。そういうことでは、その後事業認定をとる形になります。これは県の許可でございます。それに何月かかるかわかりませんが、事業認定の期間というものはかなり長期を要します。その事業認定の許可をもって地権者と契約、税制上の届け出、こういったものの事務手続に入ります。そして、企画部長先ほど申しましたように、その後平成19年度において一部工事の実施がなされるかどうかということに流れとしては先ほどご説明申し上げました。不足するかどうか、今のところちょっと予想ついておりません。予算において執行しながら対応していきたいと、こう考えております。

○企画部長（渡邊 悟） この日通のところの土地を買い取るための財源というのは、平成19年度まで使わなければならない、今積み立てしているのも、多分間に合うのではないかなと思っております。その後は、その後の交付金を充てるということとなりますので、一応とりあえずこの年度は間に合うということでご理解いただきたいと思います。

○副委員長（佐々木 肇） ほかに質疑ございませんか。

○委員（新谷 功） くだいようですけれども、お聞きしておきたいと思いません。

この下北駅前広場の開発計画は、一番の問題は土地の問題なのです。そこで、我々にこの間現地調査のときに示した図面がありますね。先ほどの企画部長の答弁であれば、これから南側に7メートル分といいますか、買うやの話が出たのですけれども、そうすればこの調査設計委託において、先ほど助役が説明しました駐車場、駐輪場等々の位置が、これはあくまでも参考図面なのですけれども、また変わるということも考えられると思いますけれども、その点いかがなものでしょうか。

○企画部長（渡邊 悟） この駐輪場の位置は、多分これを買って、ここを全部駐車場にしたらいいのではないかと、そうすると多分50台ぐらいとれるようになると思います。駐輪場の方を逆に今広げた方に持っていくとか、その辺今検討しておりますけれども、駐車場を広げて最低50台は確保したいというような考えで、担当課の方で進めております。

あと、ガソリンスタンド寄りの追加した分は、冬の除雪とかの最悪の場合、排雪する場所にも使えますので、そういったことからかなり有用ではないかなという思いをいたしております。

○副委員長（佐々木 肇） ほかに質疑ございませんか。

○委員（新谷 功） 部長にお聞きしたいと思いません。今の調査設計の方は、12月22日の工期だと、これはわかりました。そして、測量業務の方はことしの5月31日でしたよね。そこで、測量が1回終わった、終わってしまった、

その後また今のようなことで南側に7メートルを買いますとか、そういう状況になれば、また測量をし直すということになるかと思うのです。そういうことからいって、設計委託の方は12月22日なのですからけれども、せめて設計業務の作業をするにしても、2カ月ぐらいはかかるのではないかなということから考えれば、この土地の問題は12月ぐらいいまでははっきり決まらなければまずいのではないかなという思いがいたしておるのですけれども、その辺の見通しは大丈夫なんでしょうか。相手方の土地の所有者等々の交渉においては、今盛んにやっているということで先ほどお聞きしたのですけれども、その辺は大丈夫なんでしょうね。

○企画部長（渡邊 悟） 一応内々には今進めていますけれども、100%大丈夫とはちょっと言えません。おおむね見込みはあるというようなことでご了解いただきたいと思います。

○副委員長（佐々木 肇） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○副委員長（佐々木 肇） 質疑がないようでありますので、以上で報告に対する質疑を終わらせていただきます。

次は、その他についてであります。下北駅前の整備促進に関することで何かございましたら発言を願いたいと思います。

○委員（白井二郎） 下北駅前の整備促進に関係すると思いますが、当然今は駅前周辺の整備ということなのですが、将来的には当然駅舎を新築するというのが最後の目的だと思っています。それを踏まえまして駅名、今は「下北」駅になっております。その辺でこのまま「下北」駅を考えているのか、また「むつ」という名前の駅は、陸奥横浜にございますが、むつ市にあっても「むつ」という名前がある駅はございません。近川にしても、赤川にしても、その辺のところと一緒に企画の方では考えているのかどうか、聞きたいのですが。

○企画部長（渡邊 悟） 駅名については、まだ、今ここでは具体的には考えておりません。当然新市まちづくり計画等もございますから、これから上がるかもしれませんけれども、今はまだといったことでございます。考えなければならぬことかもしれませんが、これは私一人で決めるものでもございませぬし、周りの意見も聞きながらどうするかと。相手は、JRもございませぬから、そういったこともございませぬ。駅名を変えることによる経費の負担というのは、もうかなりいろいろ多分出てこようかと思っております。そういったことも勘案しながら、皆さんで考えていただきたいと今思っております。

○委員（白井二郎） 私も十分わかっているわけでありませぬ。当然駅名を変え

るということは、JRの方でも全国のいろんな面を変えなければならないし、相当な経費がかかると思うわけです。私としてはやはり下北最北の地、大湊駅が最北の地ということになります。ぜひむつ市のPRのためにもこの駅舎と一緒に市民と、また議会と担当課と一緒にあって本当に考えていくべきではないかと、そういうやはり役所の方でも、企画部の方でも市民に対して意見を聞くとか、提言するとかということをお願いしたいと思います。

○副委員長（佐々木 肇） ほかに質疑ありませんか。

○委員（瀨田栄子） 面積が若干広くなったということで、駅舎に対しての要望というようなものですが、今海の駅とか道の駅とかという普通の鉄道の駅のほかに駅がいっぱいあるわけです。その道の駅との抱き合わせのような、その規模は若干違うかもしれませんが、今下北の中にはそういう部分がないので、何とかそういう検討もできないかなと。特産物等も販売できるような将来的な構想としてはどうでしょう、考えられないでしょうか。

○企画部長（渡邊 悟） 今の段階では、ちょっとなかなか難しいこともございます。JRの方での希望が第一優先されますので、あとは経費の問題等もございます。この中には後々追加できるスペースは確かにございませんけれども、その駅の中でそういうのを使えるかどうか、そんなに大きい駅では実際ございません。だから、その辺はこれからの問題として、その駅の中に今の段階で改めてまた入れて交渉し直しとなると、これはまたかなり期間も多分かかると思います。かなり前にJRが予定している駅の大きさがあるので、その中での今話し合いを進めておりますので、そういった機能をもし新たに機能を追加するということになれば、これは難しいかもしれません。JRの方でも受容できる範囲内のことであれば、これは可能かもしれません。そういったことで今JR側に話をすることは可能かと思えます。相手に応じてある程度やらなければならない、そういった状況もございますので、その辺はご理解いただきたいと思います。

あと、終わった後に、例えば隣にまた何か建てるのか、そういったことでの可能性はさらにまた出てくるのではないかなと思います。

○委員（瀨田栄子） JRの駅の中にというのは難しいということでしたけれども、何とかまた別棟というような形でやはり検討していただきたいなと、駅がまた生きてくるのではないかなと思います。車だけでなく、夏場は鉄道を利用した観光客の方なんかは、やっぱり駅が基地になりますから、駅を中心に動いて、駅で買い物をして帰るということもいっぱいあるのではな

いかなと思いますので、何とか下北のものをアピールしていくというか、販売していく、宣伝していく、そういうまた基地にもしていただきたいなと思います。

以上です。

○副委員長（佐々木 肇） ほかに質疑ありませんか。

○委員（東谷良久） 次回の特別委員会までに、話し合う大事な場ですので、ある程度の過程等の書類というのでしょうか、事前に配布してもらえれば、委員会の中身がより濃くなるかと思しますので、何とかお願いしたいと思うのですが。次回の委員会までの間にというか、きょう以降のこととかも。

○企画部長（渡邊 悟） 公表できるものはできるだけ出すという考えであります。

○副委員長（佐々木 肇） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○副委員長（佐々木 肇） それでは、質疑がないようですので、以上でその他についてを終わりたいと思います。

次は、中間報告の取りまとめについてであります。本会議においての中間報告は、9月定例会の初日に行うこととなります。中間報告の作成につきましては、正副委員長にご一任を願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○副委員長（佐々木 肇） ご異議がないようですので、そのように決定をさせていただきます。

それでは、お諮りいたしますが、本日の特別委員会はこれをもって閉会したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副委員長（佐々木 肇） ご異議がございませんので、以上をもって本日の特別委員会はこれで閉会いたします。ご苦労さまでした。

（午後 1時54分 閉会）

上記のとおり相違ありません。

下北駅前整備促進特別委員会

委員長 川下 八十美

副委員長 佐々木 肇